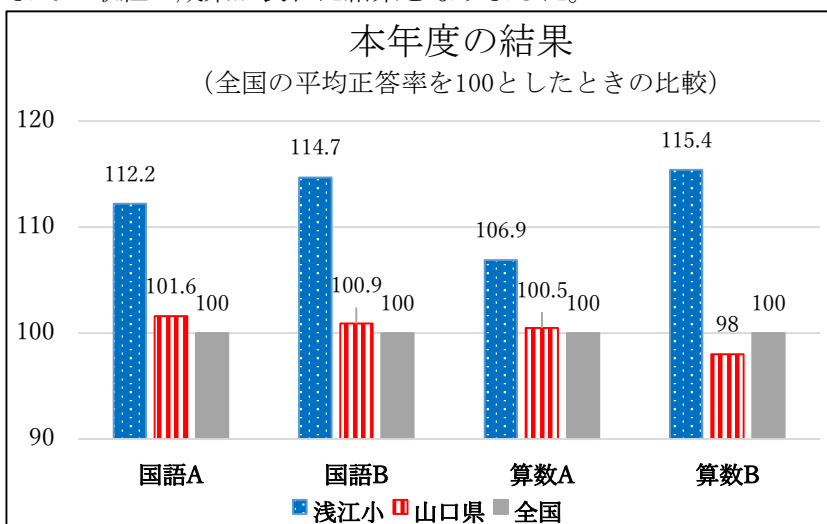


## ～全国学力・学習状況調査の結果について～

4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省から公表されました。今年度は、国語と算数の2教科が実施され、それぞれA問題（主として知識に関する問題）とB問題（主として活用に関する問題）の2種類に取り組みました。併せて実施された児童質問紙とともに、児童の学力や学習状況等を把握するものとなっています。

本校では、国語A・B、算数A・Bの4区分すべてにおいて、全国や山口県の平均正答率を上回り、これまでの取組の成果が表れた結果となりました。



### 【教科の結果】

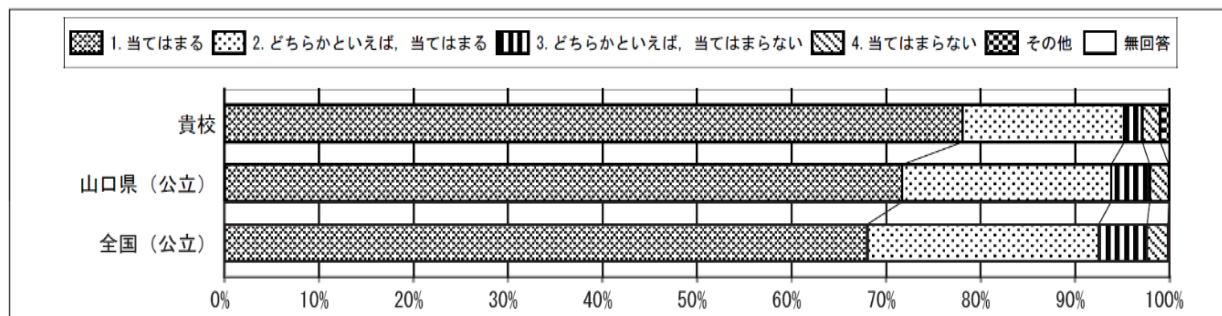
国語も算数も、多くの情報の中から必要な情報を取り出し、それらを関連付けて考えることができていました。さらに、昨年度の課題であった、必要な情報を用いて短くまとめたり正確に説明したりする問題において、全国や県の平均と比べて大変優れている結果となりました。

### 【児童質問紙に関する結果】

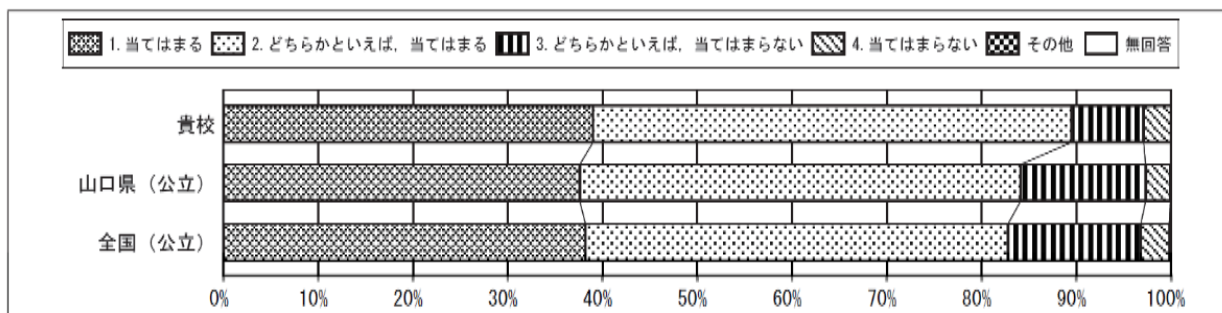
教科の調査とあわせて児童質問紙も行われました。

家庭での生活習慣や学習習慣、子どもの意識など、多くの項目において本校の子どもたちの質問紙への回答状況は良好でした。特に、「人の役に立つ人間になりたい」と答える子どもや「授業で学んだことを、他の学習や普段の生活に生かしている」と答える子どもの割合が高いことから、コミュニティ・スクールとして地域の方々に見守られ、認めていただける環境にある点がこの結果に表れたと考えます。

### 質問：人の役に立つ人間になりたいと思いますか



### 質問：授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか



今回の調査結果を手がかりにして、子どもたちが未来を拓くために必要な確かな学力を確実に身につけられるよう、今後も学校・家庭・地域との連携・協働を充実させていきたいと考えています。